

第134回

中小企業景況調査報告書

〔平成24年10月～12月期実績〕
〔平成25年1月～3月期予測〕

平成25年1月
群馬県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数……50%－20%＝30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、平成24年12月1日 (土) を調査時点とし、期間は平成24年10月～平成24年12月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口：人)	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城支所 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
吉岡町 (18,044)	15	3	3	4	5
みなかみ町 (21,294)	15	3	3	4	5
高崎市群馬 (36,568)	15	2	4	5	4
下仁田町 (9,514)	15	3	3	4	5
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
高崎市新町 (12,708)	15	3	3	4	5
東町 (2,757)	15	3	3	5	4
板倉町 (15,658)	15	3	2	4	6
合計	150	29	30	45	46
(構成比%)	(100%)	(20.0%)	(20.0%)	(30.0%)	(30.6%)
回答企業数	143	28	24	40	45
回収率 (%)	95.3%	96.5%	80.0%	88.8%	97.8%

※人口については、

桐生市黒保根は、平成17年6月1日

渋川市赤城、吉岡町、東吾妻町は、平成17年12月1日

高崎市群馬、高崎市新町は、平成18年1月23日

下仁田町は、平成18年4月1日推計

みなかみ町、東町、板倉町は、2010年7月1日推計

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	8	27.5
繊維	2	6.8
木材・木製品	3	10.3
家具・装備品	3	10.3
印刷・同関連業	3	10.3
プラスチック製品	2	6.8
金属製品	2	6.8
はん用機械器具	1	3.4
電気機械器具	2	6.8
輸送用機械器具	3	10.3
その他	1	3.4
合 計	29	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	16	53.3
職別工事業	12	40.0
設備工事業	2	7.4
合 計	30	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
各種商品	3	6.7
織物・衣服・身の回り品	5	11.1
飲食料品	20	44.4
機械器具	1	2.2
その他小売業	16	35.6
合 計	45	100.0

(4) サービス業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
一般飲食店(一般・遊興)	20	43.4
宿泊業	6	13.0
運送業	1	2.1
自動車整備業	6	13.0
洗濯・理美容業	8	17.3
その他	5	10.8
合 計	46	100.0







1. 群馬県全産業の景況概況

今期（平成24年10月～12月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲24.9→▲35.7、建設業：7.1→▲3.5、小売業：▲38.7→▲28.8、サービス業：▲27.9→▲27.3となった。製造業、小売業、サービス業には回復傾向が見られるが、建設業は下落している。































また、業種別の景況判断では、製造業・建設業・小売業・サービス業ともに曇り判断であった。

来期（平成25年1月～3月期）予想では、製造業：▲35.7→▲17.9、建設業：▲3.5→▲18.5、小売業：▲28.8→▲42.3、サービス業：▲27.3→▲29.6であり、建設業、サービス業、製造業ともに下落傾向である。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成22年度		平成23年度				平成24年度			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月見込
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業	